

中嶋恒雄・啓子
CDリサイタル

Tsuneo & Reiko Nakajima
CD Recital



この度、私たち中嶋恒雄と妻啓子は、二人共同で30年来研究してきた日本歌曲及び器楽曲を集めて、CDを制作する運びとなった。私としてはCDの制作時期は、もっと内容を磨き上げて、時期を後に遅らせたいという願いがあったが、残念ながら私の膵臓癌再発のために、もはや時間を持つことができず、止むを得ず発行に及んだ。

思えば私も啓子も、今日の大半の音楽家がそうであるように、幼少時の音楽環境の中から育てられたのではなく、戦後の混乱の中からミューズの神に導かれて、青年期から自発的に、一生を音楽の研究に捧げるようになった。そのため音楽の研究は、経験的な自然さの取得よりも、理論的な方法の探求に、より多くの力を注いできた。

従来、学校教科の音楽教師は、ピアノと声楽を学べばそれで自立できると考えられ、教員養成大学においても、もちろん本家の芸大においても、声楽とピアノに多くの教員が配置されていた。しかし音楽科は音楽の何を教えるのかの根本については、西洋の手本を学ぶこと以外は、長らく不問にされていた。ここで教科の内容となる歌曲歌唱の問題は、ドイツ、イタリアなど、西洋の歌唱から生まれた発声法をそのまま、日本歌曲の発声法としたことである。そのため日本語で書かれたオペラでも字幕を必要とし、歌曲は歌詞を見なければ、意味がほとんど分からないという状況となった。他方1960年代の米国では、J.ブルーナーの理科教育改革のために「教科の構造の学習」という理念が、教育現場に取り入れられるようになった。私はこれに注目し、音楽科にもこの理念を取り入れることを主張して、1977年告示の中学校学習指導要領の記述に採用されることを得た。

また私たちは、上のような歌曲歌唱のあり方を改善すべく、作曲においては日本語の高低の抑揚に留意し、演奏においては、日本語の低いフォルマント及び母子音のあり方に留意して、演奏を聴くだけで詩が理解出来るような作曲と発声法を研究してきた。

今日の芸術文化の状況の中で、音楽はもっとも力を失っているように思える。しかし、何時かはきっと、芸

術音楽の伝統は蘇る日が来るであろう。そのためにこそ私たちは、ここにCDを残す意味があると信じている。多くの人々のご支持と、ご高評をお願いする次第である。



2017年 すみだトリフォニー小ホール楽屋にて

Disc 1

1. 海の太鼓 — ソプラノとピアノのための(14'40")
作曲 中嶋恒雄 詩 小磯仁 ピアノ 安田正昭 録音 自宅音楽室
2. 三好達治の詩による二つの歌曲 1)一点鐘二点鐘(9'51") 2)乳母車(6'26")
作曲 中嶋恒雄 ピアノ 松山元 録音 すみだトリフォニー小ホール
3. 堀内幸枝の詩による四つの歌曲
1)春の1日(5'23") 2)また次の恋人に(6'18") 3)石垣(2'31") 4)九月の日差し(6'02")
作曲 中嶋恒雄 ピアノ 酒匂淳 録音 すみだトリフォニー小ホール
4. 母が教えてくれた歌(4'48") 作曲 A.ドボルザーク
訳詩 中嶋啓子 編曲、制作 中嶋恒雄

Disc 2

1. ここを過ぎて泣け(8'16") — 狩野敏也の詩による三つの歌曲 より
作曲 中嶋恒雄 ピアノ 酒匂 淳 録音 すみだトリフォニー小ホール
2. 万葉による挽歌(15'12") 作曲 中嶋恒雄 詩 柿本人麿
ヴァイオリン 千葉純子 チェロ 安田謙一郎 録音 すみだトリフォニー小ホール
3. 飾り棚の上の時間2 — 電子オルガンのための(15'08")
作曲 中嶋恒雄 電子オルガン 市川侑乃
録音 ヤマハエレクトーン渋谷メインスタジオ
4. レクイエム — 学徒出陣戦没同期生の霊に捧げる(15'03")
作曲 中嶋恒雄 詩 山田又市、江見俊太郎 バリトン 竹澤嘉明
クラリネット 海鉦正毅 ピアノ 酒匂 淳 録音 すみだトリフォニー小ホール
5. 泣かせてください(4'14") 作曲 G.F.ヘンデル
訳詩 中嶋啓子 編曲、制作 中嶋恒雄
6. 愛の賛歌(4'09") 作曲 M.モノー 訳詩 中嶋啓子 編曲、制作 中嶋恒雄

Disc 3

1. 敦煌莫高窟幻想(13'53") 作曲 中嶋恒雄 詩 狩野敏也
尺八 藤原道山 箏 篠塚 綾 十七弦 松村エリナ
録音 すみだトリフォニー小ホール
2. 大樹 — ソプラノと箏のための(14'15") 作曲 中嶋恒雄 詩 友永淳子
箏 篠塚 綾 録音 すみだトリフォニー小ホール
3. 首のうた(14'35") 作曲 金藤豊 詩 宮澤章二
尺八 山下孝太郎 ピアノ 石森宏美 録音 すみだトリフォニー小ホール
4. J.S.BACHカンタータ(5'06")140より 詩 中嶋恒雄 編曲、制作 中嶋恒雄
5. リュウのアリア — 歌劇トゥランドットより(3'01") 作曲 J.プッチーニ
訳詩 中嶋啓子 編曲、制作 中嶋恒雄
6. さくらさくら(3'18") 詩、作曲 日本古謡 ピアノ Julia Okaji
録音 クロムニエージュシュ宮殿ホール
7. ふるさと(3'05") 詩、作曲 文部省唱歌(高野辰之、岡野貞一)
ピアノ Julia Okaji 録音 クロムニエージュシュ宮殿ホール

Disc 4

1. 深山啼鳥(15'37") — 2管の尺八と箏のための 作曲 中嶋恒雄
尺八 難波竹山、坂田梁山、箏 横山佳世子
録音 東京オペラシティリサイタルホール
2. 飾り棚の上の時間 — ピアノのための(8'23")
作曲 中嶋恒雄 ピアノ Julia Okaji
録音 ブラハ、スメタナ博物館ホール
3. 合唱曲「素朴な琴」— 混声3部合唱のための(19:01)
「貫く光」「心よ」「おおぞらのこころ」「母」「素朴な琴」「終曲」
作曲 中嶋恒雄 詩 八木重吉 合唱 NHK東京児童合唱団
録音 みなとみらい小ホール
4. ヴェネチア幻想 — 電子オルガンのための(15'23")
作曲 中嶋恒雄 電子オルガン 大畑莉沙
録音 ヤマハエレクトーン渋谷メインスタジオ

中嶋恒雄(作曲)

東京都立日比谷高等学校卒業。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業、及び同大学楽理科を経て指揮科卒業。1984年カリフォルニア大学サンディエゴ校研究員。1966年山梨大学に就任以来、上野学園大学、東京学芸大学を始め、多くの大学、大学院の講師を勤めるのと平行して、文部省学習指導要領、大学設置学校法人審議会、教科用図書検定調査審議会等、教育行政の仕事をした。また、1994年提案の「音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律」の成立に、音楽教育国民会議の一員として努力した。現在山梨大学名誉教授、財団法人音楽文化創造参与。著書「禪の作曲家佐藤慶次郎」訳書「ジャズの歴史」他、多くの論文、作品がある。作品は、チェコの作曲家によって、Neo-impressionismと分類され評価されている。1964年日本音楽コンクール作曲部門第2位、1998年山梨県文化奨励賞、2016年瑞宝中綬章受章。

中嶋啓子(ソプラノ)

山梨県立甲府第一高等学校卒業。山梨大学教育学部音楽科卒業。中嶋恒雄、片野坂栄子に師事。1999年ミラノ音楽院に留学し、カルラ・ヴァンニーニ、マルガレータ・グリエルミ女史のもとで発声法を研究。グリエルミ女史にはmangiare, 食べたいような声と称賛された。1996年以降、中嶋恒雄歌曲作品のすべてを初演し、ウィーン、プラハ、チェコの各地で演奏する。2012年には、チェコ共和国クロムニェジーシュFestival Forfestに招かれて、好評を博した。

安田正昭(ピアノ)

1986年東京芸術大学1年次にマントヴァ・フェスティバルに招かれ、R. ロッシ賞受賞。1989年第1回パリ・スタインウェイ・ピアノコン優勝。1990年仏国際コンクール、ピアノ部門優勝。モーツァルト特別賞、メシアン特別賞受賞。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏、室内楽科卒業。現在上野学園大学準教授。

松山元(ピアノ)

ケルン音楽大学院修了。2000年文化庁派遣在外研修員。2010年中島健蔵音楽賞受賞。

酒匂淳(ピアノ)

武蔵野音楽大学院修了。エッセン音楽大学卒業。1981年フィナーレ・リグレ国際ピアノコンクール第1位入賞。現在山梨大学名誉教授。

千葉純子(ヴァイオリン)

桐朋音楽大学卒業後ジュリアード音楽院に在籍。ニューヨーク国際コンクールにおいて優勝。

安田謙一郎(チェロ)

1966年チャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。多くの海外公演、及びレコーディングを残している。

市川侑乃(電子オルガン)

2009年ヤマハエレクトーンコンクール、クラシック部門優勝。東邦音楽大学実技演奏研究員。